





“ひと”と“まち”を楽しみつくしました！
楽しただけやる気もついていきました!!

建築学部 建築学科 4年 村山美穂さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可 派遣先： 台湾・実践大学

私はこれまで海外に訪れる機会が少なかったため、はじめは海外でのPBLを躊躇していました。しかし、台湾は日本にもなじみ深い国であり事前に多くの情報を得られたため、自分の世界を広げる機会になればと参加を決意しました。

PBLが始まると台湾の学生たちが私たちを毎日もてなしてくれました。台湾名物の夜市から意外と知られていない朝市。グルメの数々や台湾のまちの魅力をたくさん紹介してもらいました。その道中では台湾の歴史・文化・民族の話を聞きました。日本人とは全く異なる感性を新鮮に楽しみつつ、日本との違いをこちらからも説明しようと思うのですが英語力が追い付かず苦い思いもしました。しかしそのような思い出がとても前向きな英語学習へのモチベーションになりました。

実際のワークショップはとても真剣に取り組みました。日本人は外国人との議論になると説得して押し切れない弱さがあるため、日本人のアイデアが最後まで生きないのはgPBLあるあるだと思います。私も英語力が貧弱で言葉での議論では台湾の班員にかないませんでした。そこで、代わりにパースをしっかりと完成させ1回目の発表で掲示しました。するとこの絵を先生方が評価してくださり、班員もその後の課題コンセプトに採用してくれました。建築では言葉以外の意思伝達ツールを日ごろから学んでいます。海外の舞台でその成果を発揮できた経験は建築学部生としてとても自信になりました。

台湾のgPBLを通して、一緒に活動した学生たちやまちで出会った人たちと会話するうち、もっといろんな話をしてみたい、いろんなことを知りたいと思いました。そしてその純粋な海外への好奇心が英語や専門科目の学習への原動力につながりました。できないからやらないのではなく、やってみたら楽しかったからできるようにしたい。このような気づきに出会えた台湾のgPBLはとても有意義な日々であったと思います。参加に際しサポートくださった国際部の方々、先生方、そして台湾で一緒に活動した学生の皆さん、本当にありがとうございました。